

きのこのコマ打ち原木の育て方

① コマ打ち体験後しっかり水分を含ませる

種駒から菌糸を発菌させて打ち込んだ原木にしっかりと活着させるため、駒打ち後、**たっぷり散水**して原木に水分を含ませる。

② 仮伏せ で菌を活着!

下に枕木を敷き、原木をのせ、上から透明でないビニールシートをかぶせ、風などでめくれないように包む。

ブルーシート内部がピチャピチャに濡れていたら、1時間程度ブルーシート取って表面をサッと乾かす。逆に表面が乾燥している場合はタツプリと水をやる。原木がしっとりしている程度がベスト!!

温度が5 以下、
25 以上に
ならないように!

③ 本伏せ で菌を全体に広げる。

雨が当たって乾く、風通しの良い場所を作る。

直射日光は厳禁で、葉の間から光がチラチラ入る林内が理想です。

庭先で栽培する場合は、遮光ネットやよしずを使い**日陰**を作りましょう!

本伏せの方法

ZOOM UP!

④ 本伏せ中の管理 をしっかりと。

梅雨～夏～秋は高温多湿に注意が必要です!

しいたけ菌も広がっていく時期ですが、高温多湿になると他の害菌もまん延してしまいます。

それを防ぐには、高温多湿を取り除いて、しいたけ菌を先にまん延させるために**天地返し**をします。

地面に付いている部分は、害菌が付きやすいので、上下を組み替えましょう!

雨が降らずに乾燥するときは、散水することも必要になります。

⑤ 収穫時期の管理

早いもので、コマ打ちした年の秋や翌春から収穫ができますが、

たくさん収穫できるようになるのは、夏を2回経過した秋からよきよき出てきます!

しいたけが発生する時期は、本伏せ時期以上に水分と湿度が必要になります。

風通しが良すぎると、しいたけが乾燥して成長出来ないので、**防風垣で囲う、木を低く組み替え**保湿をしましょう!

しっかりきのこの菌がまん延した原木であれば、3～4年以上は毎年シーズンに収穫できるでしょう!